



NPO法人

ボランティアインフォ

ひとりでも多くつなげたい、ボランティアしたい人と、ボランティアしてほしい人を
ひとりでも多くつなげたい、ボランティアしたい人と、ボランティアしてほしい人を

第2期（2013年4月～2014年3月） Annual report

CONTENTS

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1 ボランティアインフォについて | 6 この1年の定量的な成果 |
| 2 被災地の状況とボランティア | 7 この1年の定性的な成果 |
| 3 ボランティア情報事業 | 8 メディア掲載 |
| 4 ボランティアコーディネート事業 | 9 収支報告 |
| 5 ボランティア普及・啓蒙事業 | 10 最後に |

日頃よりボランティアインフォの活動にご協力頂き、ありがとうございます。
心からお礼を申し上げます。

2011年の震災後の仙台駅でのボランティア案内所から始まったボランティア
インフォも活動開始から3年が経過し、今まで掲載したボランティア情報
も延べ6,500件を越えました。

引き続き沿岸部で復興のために活動をしている方々のもとに、求められて
いるボランティアの質と量を満たすことで、震災からの復興に尽力してい
きたいと思っております。

そして今回の震災でのボランティアをブームに終わらせないためにも、
もっとカジュアルなボランティアを社会に提案し、日本におけるボラン
ティア人口を増やしていきたいと考えております。

今年度もボランティアインフォ一同、さらにパワーアップしてまい進して
いきたいと思っておりますので、引き続き温かいサポートをいただきますよう、
どうぞよろしくお願い申し上げます。

ボランティアインフォ 代表理事 北村 孝之

● ミッション

ボランティアを求める人とボランティアをつなげる

● 事業内容

information

ボランティアを求めている人と、
ボランティアを情報でつなぎます。

ボランティア情報事業

東日本大震災のボランティア情報の収集と配信に加え、震災関連以外のボランティア情報の収集及び配信を実施します。収集したボランティア情報はデータベースとしてAPIで配信しています。配信した情報はYahoo!ボランティアなどのサイトに同時に表示されます。

coordination

企画段階からボランティア募集、
現場でのコーディネーションまで実施します。

ボランティアコーディネーター事業

イベントなどでボランティア募集をする際、企画から募集、当日のコーディネーターまで実施します。集まったボランティアのコミュニティ構築のお手伝いも実施します。

diffuse

ボランティアがもっとカジュアルになるように、
ボランティアするもっと人が増えるように。

ボランティア促進・啓蒙事業

日本のボランティア人口を増やすやめに、またボランティア活動をもっとカジュアルにするための普及活動や啓蒙活動を行います。

● チームと役割 7月から田屋が正社員としてジョインしました

・ ボード会議

毎週1回のボード会議を実施し、ボランティアインフォの意思決定を行う。

メンバー：北村、山田、沖、大藤、田屋

・ ボランティア情報入力チーム

ボランティア情報の掲載依頼対応とメールや電話、webサイトでの定期的な活動状況の情報収集及びボランティア募集情報の発信

メンバー：田屋、山田、沖、大藤

・ 現地訪問チーム

被災地沿岸部の団体を訪問しボランティア情報のサポートを実施。

また団体の活動内容や募集情報をブログで発信。

メンバー：田屋、我妻、北村、山田、大藤

・ 会計チーム

会計のまとめと収支計算などの実施。

メンバー：北村、田屋、石田

● 支援フェーズの変化（定性）

・ 復旧支援フェーズ（3.11直後）

各地の災害ボランティアセンターに大量の一般ボランティアが必要
作業内容は泥かきやガレキ撤去

・ 生活支援フェーズ（2011年夏頃から）

避難所から仮設住宅への移行にあわせて徐々に生活支援へ移行
災害ボランティアセンターが閉まりNPOや現地の団体が活動本格化
継続して参加できるボランティアが求められていた

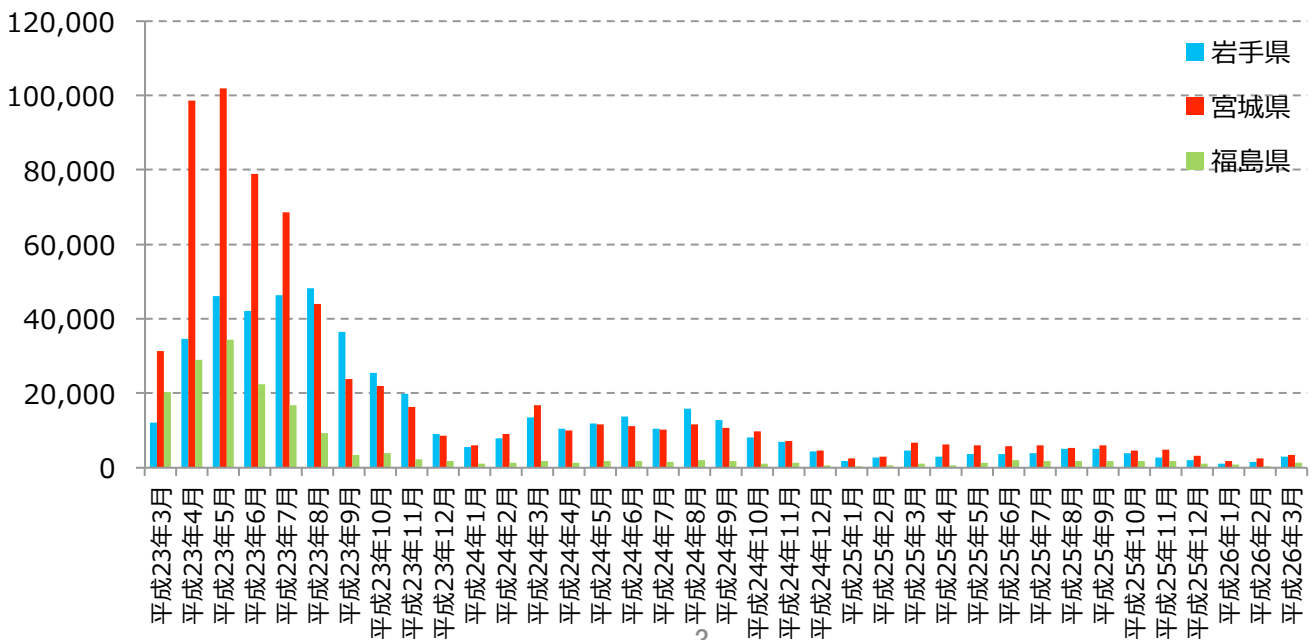
・ 自立支援フェーズ（2011年秋頃から）

復興商品など少しでも収益につながる方法が模索され始める
農業支援や漁業支援、スキルが必要とされるボランティアニーズが高まる
→例：ホームページ作成できる人、ビニールハウスが建てられる etc

生活支援と自立支援は2013年になっても継続中。求められるボランティアも多岐にわたり、イベント時には多くの人手が必要とされるが、それ以外ではスキルボランティアや長期ボランティアのニーズが高い。また震災直後は生活面でマイナスになった部分をボランティアがカバーしていたが、震災から3年以上が経過し生活を楽しくしたり豊かにしたりするためのボランティアニーズが中心となっている。

● ボランティア数（定量）

ボランティアの数は2011年のGWをピークに右肩下がりで減少を続けているが、被災地で必要とされるボランティアの変化もあり、単純に数だけでは判断できない部分が多い。震災から2年の時点で500万人以上が参加したと言われているが詳細なデータはない。以下は全社協が出している被災3県の災害ボランティアセンターのボランティア数（NPOなどは含まれず）。



● 事業概要

ボランティア募集情報の収集と発信を通じて、ボランティアを求めている人とボランティアをつなぐ事業です。



・ボランティア募集情報の収集

ボランティア募集情報の収集は以下のチームで行なっています。

- ー現地訪問チーム：団体を訪問してヒアリングを実施。
ITが苦手な方には募集情報の作成も実施します。
- ーボランティア情報入力チーム：ボランティア情報の掲載依頼対応とメールや電話、webサイトでの定期的な活動状況やボランティア募集情報収集を実施

・ボランティア募集情報の発信

収集したボランティア情報をデータベースに集約し、APIにて配信することによってさまざまなサイトでボランティア情報が表示されます。

ボランティア情報が表示されるサイト：ボランティアインフォ
Yahoo! ボランティア など



● 東日本地震以外のボランティア情報

ボランティアインフォでは、東日本地震後に構築したボランティア情報の流通の仕組みを活かして、東日本地震以外の災害発生時にもいち早くボランティア情報を流通させることで、ボランティアを求めている人のもとにボランティアをお繋ぎしています。

・ 西伊豆町大雨被害

7月17・18日に発生した大雨で西伊豆町に被害が出ており、災害ボランティアセンターが立ち上がり、ボランティアインフォでは西伊豆町大雨被害のボランティア募集情報を掲載を緊急的に掲載しました。

・ 南陽市豪雨災害

7月18日に発生した大雨で山形県南陽市に被害が出ており、災害ボランティアセンターが立ち上がり、7月23日の県外ボランティア受入開始をうけて、ボランティアインフォでは南陽市豪雨災害のボランティア募集情報を掲載を緊急的に掲載しました。

・ 山口県・島根県豪雨災害

7月28日に発生した大雨で山口県・島根県に被害が出ており、災害ボランティアセンターが立ち上がり、ボランティアインフォでは県外からボランティア参加可能な萩市災害ボランティアセンターのボランティア募集情報を掲載を緊急的に掲載しました。

・ 台風18号被害

9月15・16日の台風18号による大雨等の被害をうけて、各地で災害ボランティアセンターが立ち上がり、ボランティアインフォでは緊急的に台風18号被害のボランティア募集情報を掲載しました。

・ 大雪被害

2月14日(金)より降り続いた記録的な大雪による雪害で、社会福祉協議会が災害ボランティアセンターを設置し、災害ボランティアの募集を開始したことをうけて、ボランティアインフォでは大雪被害のボランティア募集情報の掲載しました。

● ap bank 東北ボランティアプログラム



ap bank東北ボランティアプログラムは、人手が必要な被災地と、自分の時間を使って何か東北のために活動したいと思っている方をつなぐプログラムです。このプログラムでは、現地で活動されている多くの団体と協業し、現在被災地で募集されているボランティア情報をできるだけご紹介します。また、ボランティアに向かう交通費を補助し、できるだけ多くの気持ちある人を被災地につなげられるよう、支援を行います。被災地とボランティアと、そしてボランティア活動を続けている全ての人が、共に手を取り、継続的なボランティア活動が広がっていくことを目指します。

・ 募集中のボランティア先の例

TSUNAGARI project（宮城県南三陸町）、socialTOUR（宮城県東松島市）、三陸ひとつなぎ自然学校（岩手県釜石市）、dogwood（宮城県仙台市）、キャンナス（宮城県石巻市）、りぷらす（宮城県石巻市）、VOARLUZ（宮城県気仙沼市）、ピースポートセンターいしのまき（宮城県東石巻市）、日本カーシェアリング協会（宮城県石巻市）、陸前高田カモメネット（岩手県陸前高田市）、WATALIS（宮城県亘理町）、ともしびプロジェクト（宮城県気仙沼市）、手のひらに太陽の家プロジェクト（宮城県登米市）

・ 募集团体の声



三陸ひとつなぎ自然学校
(釜石市)

2012年の冬からボランティアを希望する人が激減し、自分たちで募集をする限界を感じたことをきっかけに、ボランティアインフォさんと連携させていただき、結果として全国からたくさんの方々を受け入れることに繋がりました。

基本的に中長期滞在型に絞って受け入れをしていますが、長く滞在することで地域住民と課題を共有しながら、震災によって生じた課題解決のみならず、新しい地域をつくるための「地域のやりたい想い」を実現する原動力となってくれています。

また、釜石でボランティアを経験したメンバー同士が繋がり、日本各地に釜石ファンコミュニティが形成されています。

・ ボランティア参加者の声

- たくさんボランティア先がある中でap bankが紹介しているところだという安心感があったので応募しました
- 学生には現地までの交通費がネックですが、それを支給していただけるのはありがたいです
- 前にボランティアに参加したことがあったんですが、団体側の対応が悪くて…このプログラムでの活動はすごく良かったです



● ボランティア案内所

Webでボランティア情報を発信するのみでなく、フェスなどのイベントでボランティア情報の案内を行なっています。意識せず気軽にボランティア情報に触れていただける場として、積極的にブース出展を行なっています。

● ARABAKI ROCK FEST.13

4月27日（土）と28日（日）にみちのく公園北地区エコキャンプみちのくで開催されたARABAKI ROCK FEST.13に東北ボランティア案内所を出展しました。

フェスを楽しみに来る全国の方に、今はこんなボランティアが必要とされているということを伝えつつ、明日からでも参加できるボランティア情報などを案内させていただきました。



● NO MORE FUCKIN' NUKES 2013

7月14日（日）、渋谷AXで開催されたNO MORE FUCKIN' NUKES 2013にボランティア案内所を出展しました。

福島でボランティア活動して福島の現状を自分の目で見るというのもいい経験になるのではないのでしょうか？というメッセージのもと、福島県でのボランティア情報を多めに案内してきました。



● earth garden“冬”

1月18日（土）と19日（日）に東京の代々木公園で開催されたearth garden“冬”に東北ボランティア案内所を出展しました。

普段ボランティアや東北支援に接点がない方に、東北の現状を知っていただくと同時に、まだまだできるボランティア活動があることを伝えてきました。



● Peace On Earth2014

3月8日（土）・9日（日）に東京の日比谷公園で行われた、311東日本大震災 市民の集い「Peace On Earth」にボランティア案内所を出展しました。

ステージでのトークプログラムにも代表の北村が出演し、東北のボランティアの現状をお伝えしました。

● 福島オールスター百貨店

12月13日(金)福島県郡山市のビッグパレットふくしまで開催された福島オールスター百貨店にボランティア案内所を出展しました。

福島県内でできるボランティア情報を紹介し、福島でできることをご案内しました。

● 東北復興ソーシャルビジネスメッセ仙台

3月15日（土）にエル・パーク仙台等で開催された東北復興ソーシャルビジネスメッセ仙台会場にボランティア案内所を出展しました。

ボランティアコーディネート事業

ボランティアを募集する団体の方と一緒にボランティアメニュー作りや、より一層ボランティアが集まりやすくなるようなアドバイス、ボランティアさんがリピートしていただけるようなアドバイスを行なってきました。

これまでの活動の中で蓄積したボランティア活動におけるノウハウを活かして、ボランティアの企画やボランティア募集、現場のコーディネートを実施し、ボランティア活動する場を創造することで、ボランティア人口の増加を目指します。

●企画

イベントなどの企画段階から打合せを実施することで、より一層ボランティアが活動しやすい環境を整えると同時に、ボランティアが参加する効果を最大化します。場合によってはロケハンなどにも同行します。

●募集

ボランティア募集を実施し、応募者の個人情報には責任をもって管理します。

応募者への連絡もボランティアインフォで実施します。

メインはwebでの募集ですが、必要に応じてビラを作成し店舗などに配布も実施します。

●説明会

ボランティア活動が行われる前に参加者を集めて説明会を実施します。説明会ではボランティア活動の内容を説明して不安や疑問を解消するだけでなく、参加者同士のコミュニケーションをとり、楽しく参加できる準備を行います。また説明会を実施することで、キャンセル率を下げる効果があります。



●コーディネート

ボランティア受付から活動内容の説明など、ボランティア活動が円滑に行われるようにイベント主催者とボランティアの間をとりもちます。



●コミュニティ化

ボランティア活動終了後も参加者同士のつながりを維持するため、打ち上げの企画やFacebookのグループ機能を使って、イベントのボランティアコミュニティを継続させていきます。イベントが毎年行われる場合はこのコミュニティを活用することで、ボランティア経験者をリピートさせることが可能です。



● コーディネーター実績 (1/2)

● 第23回仙台国際ハーフマラソン関連イベント

5月10日～12日に開催された第23回仙台国際ハーフマラソンの関連イベントのボランティア募集と当日のエコステーションでのボランティアコーディネーターを実施させていただきました。
3日間で延べ14人のボランティアさんと一緒に仙台国際ハーフマラソンを盛り上げました。



● キャンプしようよin猪苗代

6月1日2日に福島県猪苗代町で開催されたキャンプしようよin猪苗代のボランティア募集と当日のボランティアコーディネーターを実施させていただきました。
事前準備を含めて4日間の活動で20人のボランティアさんと一緒にイベントを盛り上げました。



● 七ヶ浜ビーチフェスSeventhheaven

8月10日(土)と11日(日)に七ヶ浜の菖蒲田海岸で第1回目の七ヶ浜ビーチフェスSeventhheavenが開催されました。ボランティア企画から募集、当日のコーディネーターまでを担当させていただきました。夏晴れの中、全国から集まった延べ31人のボランティアさんと一緒にフェスを盛り上げました。



● キリンチャレンジカップ

8月14日に利府町の宮城スタジアムでキリンチャレンジカップがあり、サッカー日本代表対ウルグアイ代表の試合が行われました。JR利府駅から宮城スタジアムまでの約5キロを歩くシールラリーの前半部分のボランティアコーディネーターを担当させていただきました。全国から集まった一般ボランティアの方20人と仙台の高校生20人のチームでシールラリーの案内を実施しました。



● JSF スウィングカーニバル2013

9月8日に仙台で開催されたJSF スウィングカーニバル2013のボランティア企画から募集、当日のコーディネーターを担当させていただきました。

当日は残念ながら雨でしたが、会場設営から受付、会場内案内などをボランティアさんと一緒に行き、来場されたお客さんと一緒に演奏して盛り上がりました。



● コーディネート実績 (2/2)

・ TINY GARDEN FESTIVAL

9月28・29日に群馬県のカンパーニャ孀恋キャンプ場でTINY GARDEN FESTIVALがあり、事前準備のお手伝いから、イベント当日のスタッフィングなどを担当させていただきました。全国のアーバンリサーチのショップから応援に駆けつけていただいたスタッフさんに加えて、アーバンリサーチの内定者ボランティア10人のコーディネートを実施させていただきましたイベントを盛り上げました。



・ 気仙沼サンマフェスティバル

10月5、6日に気仙沼でサンマフェスティバル2013が開催されました。ボランティア企画から募集、前日の会場設営、当日のコーディネートまでを担当させていただきました。2日間で延べ135人の方と敷地管理、エコステーション、グッズ販売、サンマ焼き、サンマの販売、インフォメーション、会場の片付けなどサンマフェス運営全般のお手伝いをさせていただきました。



・ 東北ジャム2013 in石巻

11月23、24日に石巻Oneparkで東北ジャム2013 in石巻が開催されました。

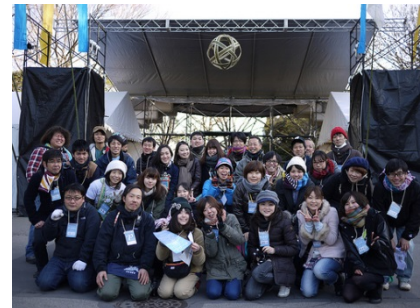
ボランティア企画から募集、事前準備、当日のコーディネート、後片付けまでを担当させていただきました。合計11日間で延べ175人の方と一緒に東北ジャムをつくりあげました。



・ Peace On Earth2014

3月8日(土) 9日(日)に日比谷公園で開催された311 東日本大震災 市民のつどい Peace On Earthでボランティアコーディネートをしてきました。

設営日と11日を含めると、延べ100人のボランティアさんに参加していただき、一緒にPeace On Earth2014をつくりあげました。



・ 3.11キャンドルナイト2014仙台

3月11日(火)に仙台勾当台公園で開催されたキャンドルナイト2014 ~しあわせな黄色いハンカチプロジェクト~のボランティアコーディネートを実施させていただきました。合計68人のボランティアさんにご参加いただき、仙台市における追悼会場としての受け皿になることができました。



● ボランティアストーリー <http://story.volunteerinfo.jp/>

ボランティア活動を行っている方にインタビューをして、1人1人のボランティアストーリーをwebを中心に配信しています。

ボランティア活動に参加した動機や、活動をして良かったこと、参加した後で変わったことなどを聞き、ボランティアストーリーとして配信することで、少しでも多くの方に共感していただき、そして「自分でもできるかな」「ボランティア行ってみようかな」と思ってもらえる人を増やしていきます。 サイトリリース：2013年11月11日



サイトのリリース及び運営にあたって、赤い羽根共同募金からの助成金の一部を使用させていただいております。



● 仙台ボランティアコレクション

<http://sendai.volunteerinfo.jp/>

「ボランティア・コレクション（略称：ボラコレ）」は仙台の街をボランティアで盛り上げることを目的としたプロジェクトで、仙台のボランティアメンバーとボランティアインフォが共同で実施しているプロジェクトです。

ボランティアは「誰かのために役に立ちたい」というキモチをカタチにできる場。日常から離れた貴重な体験や、年代や職業も違う人との出会いで溢れています。

そこで私たちは、自発的な“社会参加のカタチ”である「ボランティア」という文化を広げ、日常に根付かせるために、参加者目線から様々なボランティアの魅力を発掘し発信するプロジェクト「ボランティア・コレクション（略称：ボラコレ）」を企画しました。

プロジェクトで集めた情報を基に、新しくウェブサイトを作成し、仙台市内のボランティア情報（参加者の体験談、募集情報・募集团体の情報）を発信していきます。

ボラコレ

Powered by  ボランティアインフォ

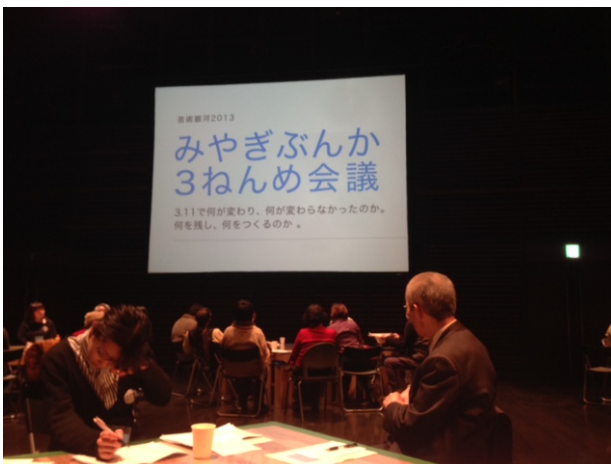
その他の活動

● 登壇イベント

- ・みやぎぶんか3ねんめ会議 <http://n-t-a.jp/>

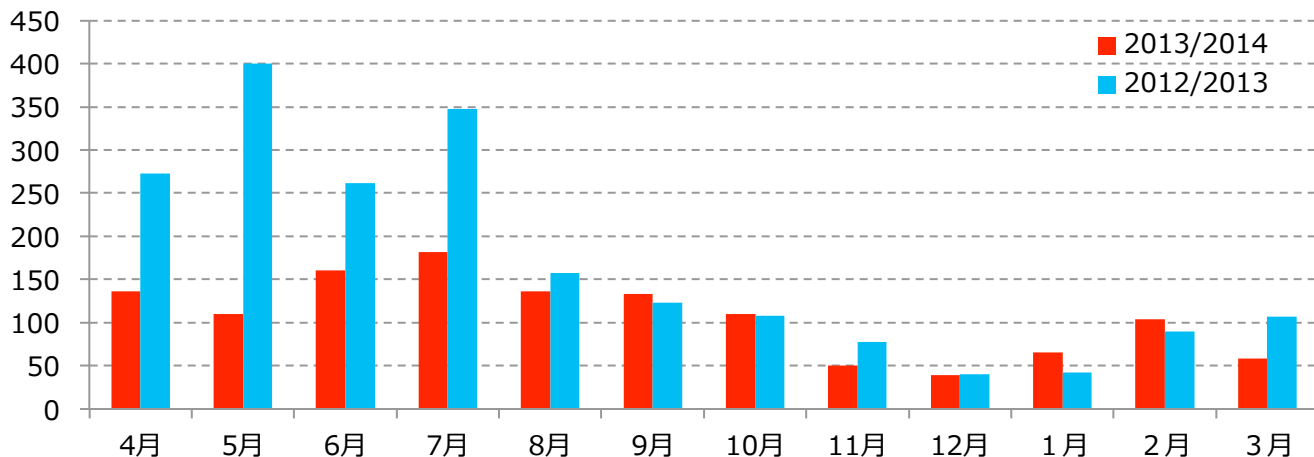
● イベント制作協力

- ・せんきよCAMP【東京】FESTIVAL <http://senkyocamp-tokyo.tumblr.com/>



● ボランティア情報事業

・ ボランティア情報掲載数 : **1,283件** (平均107件/月)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2013/2014	136	110	161	182	136	133	110	50	39	65	104	58
2012/2013	273	400	262	348	157	123	108	78	40	42	90	107

※ID数をもとに算出しているため5%程度のロスがある可能性あり

- ・ 夏前の募集が多くなっていた時期が昨年よりも大きく減少
- ・ 傾向としては夏休み前と3月、ゴールデンウィーク前に増加する傾向があるもの
昨年よりも山はなだらかになってきている

・ サポート団体数

528団体 (ボランティア募集のサポート有無に関わらず)

・ 東日本地震以外のボランティア情報

5箇所 : 西伊豆町大雨被害、南陽市豪雨災害、山口・島根豪雨災害、台風18号被害、大雪被害

・ ボランティア案内所

6箇所 : ARABAKI ROCK FEST.13、NO MORE FUCKIN' NUKES 2013、earth garden“冬”、Peace On Earth2014、福島オールスター百貨店、東北復興ソーシャルビジネスメッセ仙台

● ボランティア情報事業

・ ap bank東北ボランティアプログラム

－募集团体数：17団体

こそだてシップ（大船渡）、dogwood（仙台）、VOARLUZ（気仙沼）、
杜の都チームドルフィンドリム（宮古）、face to face（石巻）、
りぷらす（石巻）、WATALIS（亶理）、三陸ひとつなぎ自然学校（釜石）、
ともしびプロジェクト（気仙沼）、陸前高田カモメネット（陸前高田）、
日本カーシェアリング協会（石巻）、socialTOUR（東松島）、
福島キッズ、ピースポートセンターいしのまき（石巻）、
キャンナス（石巻）、手のひらを太陽の家プロジェクト（登米）、
TSUNAGARI project（南三陸）

－ボランティア参加者数：88人（応募者数：117人）

● ボランティアコーディネート事業

- ・ 第23回仙台国際ハーフマラソン関連イベント ボラ人数：14人（3日間合計）
- ・ キャンプしようよin猪苗代 ボラ人数：51人（4日間合計）
- ・ セヶ浜ビーチフェスSeventhheaven ボラ人数：31人（2日間合計）
- ・ キリンチャレンジカップ ボラ人数：40人
- ・ JSF スウィングカーニバル2013 ボラ人数：14人
- ・ TINY GARDEN FESTIVAL ボラ人数：20人（2日間合計）
- ・ 気仙沼サンマフェスティバル ボラ人数：135人（2日間合計）
- ・ 東北ジャム2013 in石巻 ボラ人数：135人（11日間合計）
- ・ Peace On Earth2014 ボラ人数：100人（4日間合計）
- ・ 3.11キャンドルナイト2014仙台 ボラ人数：68人

年間参加ボランティア人数：608人

● ボランティア普及・啓蒙事業

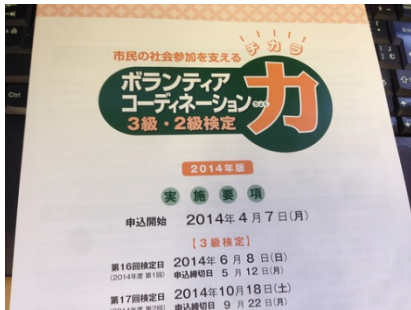
- ・ ボランティアストーリー 記事数：7本

● その他

- ・ ブログでの情報発信数：89記事（平均：7.4記事/月）

● ボランティア情報事業

- 東日本地震のボランティア情報の特集を組みました
ゴールデンウィーク特集、夏休み特集、311周辺のイベント特集 など
- 東日本大震災以外の災害ボランティアの対応をしました
ボランティア情報の流通の仕組みを活用し、災害が起こった際に迅速にボランティア情報をwebに流通させ、ボランティアを求める人とボランティアを繋ぎました。



● ボランティアコーディネート事業

- 様々なシーンのボランティアコーディネートを実施しました
音楽イベントやスポーツイベント、アートイベントなどさまざまなイベントのボランティアコーディネート実績を積みました。
- ボランティアコーディネーション力検定3級検定
ボランティアコーディネーターとしての基礎知識を得るために北村と田屋が3級検定を受験し合格しました。
- ボランティアコーディネートに加え制作面もカバーできるようになりました
エコステーション運営、インフォメーション運営、エントランス運営、駐車場運営、クローク運営、物販サポート、シャトルバス運営など実施しノウハウを構築しました。
- 参加ボランティアのリピーター化
ボランティアインフォのボランティアコーディネートに毎回参加してくれる方が多く、ボランティアの輪が徐々に広がってきています。
- 新卒ボランティア企画
内定が決まっている新卒生をボランティアとしてイベントのサポートを実施しました。先輩社員とのコミュニケーションがとれるなど好評を得ました。

● ボランティア普及促進事業

- ・ ボランティアストーリーのwebサイトを開設しました（11月）

<http://story.volunteerinfo.jp/>

開設にあたっては赤い羽根共同募金からの助成金の一部を使用させていただきました。

- ・ 仙台ボランティアコレクションを開始しました

「ボランティア・コレクション（略称：ボラコレ）」は仙台の街をボランティアで盛り上げることを目的としたプロジェクトで、仙台のボランティアメンバーとボランティアインフォが共同で実施しているプロジェクトです。



● その他

- ・ 『季刊 消防科学と情報 No.115/2014年冬』に寄稿しました

消防科学総合センターさんの『季刊 消防科学と情報 No.115/2014年冬』に北村の「東日本大震災におけるボランティア活動と情報」が掲載されました。

- ・ ボランティアインフォのFacebookページが「2000いいね」を達成しました
1月16日に2000いいね達成しました。

<https://www.facebook.com/volunteerinfo.jp>



- ・ TOKYO FM (4月26日) ゴールデンウィークのボランティアについて
- ・ ミヤギテレビ (5月6日) ゴールデンウィークのボランティアについて
- ・ COLORweb (5月22日) ARABAKI ROCK FEST.13のボランティア案内所
- ・ 河北新報夕刊 (7月13日) 被災地でのボランティアについて
- ・ J-WAVE (7月24日) ボランティアインフォの活動について
- ・ ヤマハさんの『音遊人』 (11月6日) JSFスウィングカーニバル
- ・ DateFM 『WE ARE EAGLER PLUS!』 (12月21日) 活動紹介
- ・ 『季刊 消防科学と情報 No.115/2014年冬』 (3月6日) ボランティアと情報
- ・ ユレッジ (3月6日) ボランティアが繋げる新しいコミュニティ
- ・ 日経WOMAN (3月10日) ボランティアインフォの紹介



東日本大震災後の活動からはじまったボランティアインフォは多くの方に支えていただき、2012年4月にNPO法人になり、NPO法人ボランティアインフォとしての第2期の活動を終えることができました。この場をおかりして、お世話になっている皆さまに御礼申し上げます。

被災地での支援の変化のスピードは早く、求められているボランティアは刻一刻と変化しています。それに対応できるよう、ボランティアインフォも組織構成や、情報収集と発信の方法などを日々見直しながら活動を行なっています。継続して実施していることがある一方で、「ボランティアストーリー」のように新しく始めたこともあります。

また昨年から実施しているボランティアコーディネートについては、ボランティアの場作りを通じて、「ボランティアをカジュアルにする」「日本のボランティア人口を増やす」ことを目的としていますが、年間のボランティア参加者数は600人を越え、そしてリピート率も高く、ボランティア参加者自身も楽しんで参加してくれています。

2014年度は仙台でのボランティア情報DB構築をしつつ、コーディネート事業では収益化を目指していきます。

東日本地震の支援活動を継続しつつも、日本のボランティア人口を増やし、もっとボランティア活動がカジュアルになるように活動して参りますので、引き続きご支援の程、よろしく願いいたします。

NPO法人ボランティアインフォ 代表理事
北村 孝之

ひとりでも多くつなげたい、ボランティアしたい人と、ボランティアをしてほしい人を
ひとりでも多くつなげたい、ボランティアしたい人と、ボランティアをしてほしい人を

● 団体概要

正式名称	特定非営利活動法人ボランティアインフォ
設立	2011年5月15日（2012年4月2日NPO法人認可）
住所	宮城県仙台市青葉区本町 1 - 1 - 1 2 GMビルディング2F
URL	http://volunteerinfo.jp
代表理事	北村孝之
理事	大藤多香子
理事	山田朱実
監事	村松淳司
決算期	3月31日